

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(50歳代男性)(第8週追加報告分)あり、症状は下痢です。感染地域は国内で、感染経路は経口感染です。本年の累積報告数は2例となりました。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(70歳代男性1例及び90歳代女性1例)あり、いずれも感染地域は国内です。本年の累積報告数は10例となりました。
- ・ 急性脳炎の報告が2例(70歳代男性及び10歳未満女性)あり、症状は発熱、意識障害等です。本年初めての報告です。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(60歳代男性)あり、感染地域は国内です。本年の累積報告数は20例となりました。
- ・ 水痘(入院例)の報告が1例(80歳代男性)(第8週追加報告分)あり、症状は発熱、発疹等です。感染地域は国内です。本年の累積報告数は5例となりました。
- ・ 梅毒の報告が3例(20歳代2例及び50歳代1例いずれも男性)(第7週追加報告分1例)ありました。本年の累積報告数は10例となりました。
- ・ 百日咳の報告が2例(10歳未満及び10歳代いずれも男性)あり、ともに症状は持続する咳、夜間の咳き込み、感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は15例となりました。
- ・ 風しんの報告が2例(20歳代男性及び30歳代女性)(第6週追加報告分1例)あり、症状は発熱、発疹等です。本年の累積報告数は7例となりました。
- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は、前週の7.25(500例)から4.25(293例)に減少しました。

◆ 今週のトピックス:<風しん>

京都市の風しんの報告が1例(30歳代女性)あり、本年の累積報告数は7例となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 5例(肺結核 なし、その他結核 2例、潜在性結核感染者3例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 46例(肺結核 17例、その他結核 9例、潜在性結核感染者 20例)うち喀痰塗抹陽性 9例】
- ・ 五類:アメーバ赤痢 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 10例】
- ・ 五類:急性脳炎 2例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 20例】
- ・ 五類:水痘(入院例) 1例【1月以降の累積報告数 5例】
- ・ 五類:梅毒 3例【1月以降の累積報告数 10例】
- ・ 五類:百日咳 2例【1月以降の累積報告数 15例】
- ・ 五類:風しん 2例【1月以降の累積報告数 7例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69、小児科定点43、眼科定点10、基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	4. 25	293
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5. 79	249
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 09	47
	③ 伝染性紅斑	0. 70	30
	④ 咽頭結膜熱	0. 33	14
	⑤ 突発性発しん	0. 28	12
眼科	流行性角結膜炎	0. 20	2

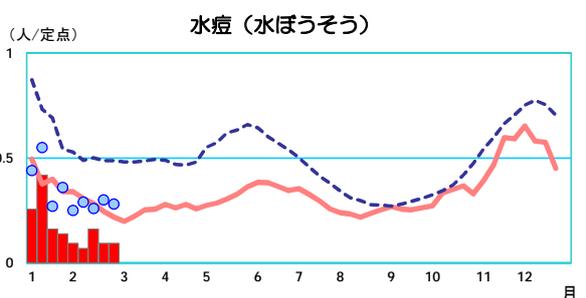
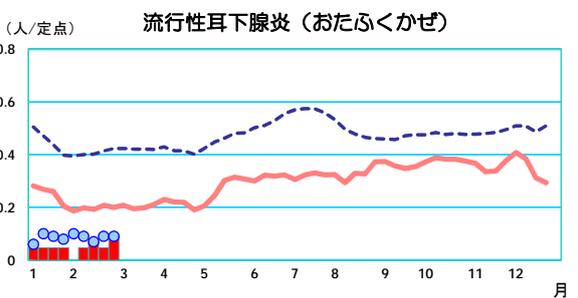
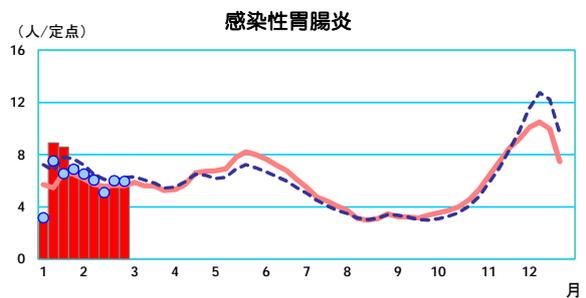
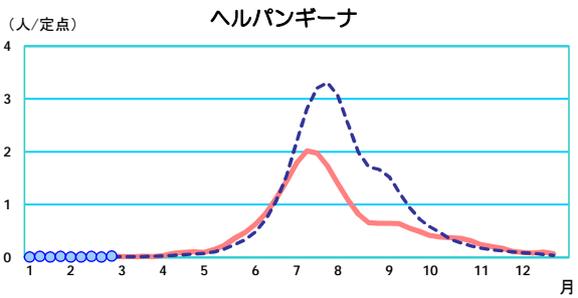
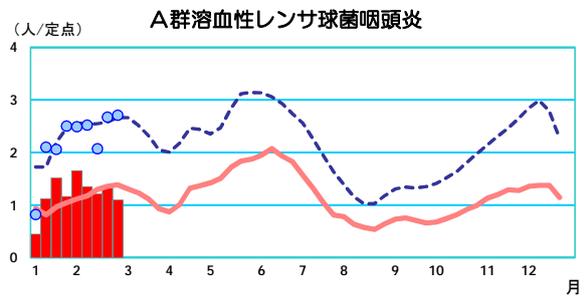
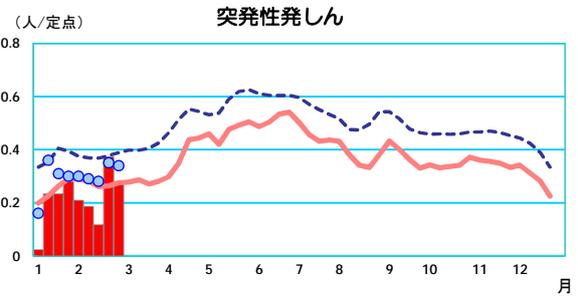
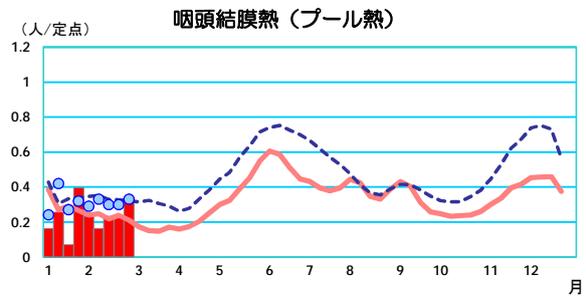
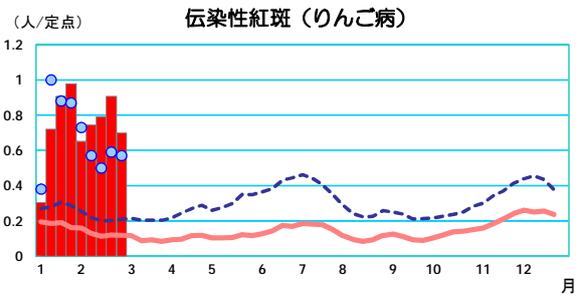
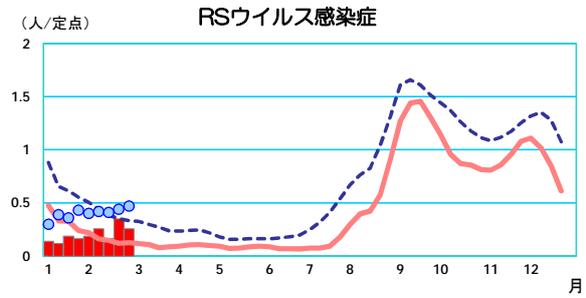
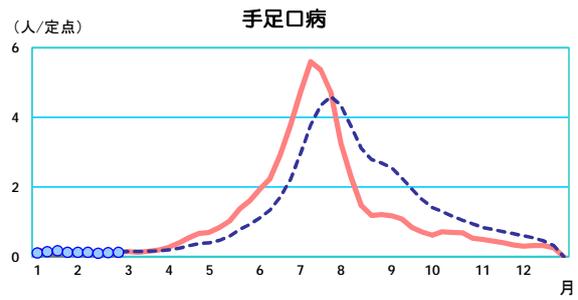
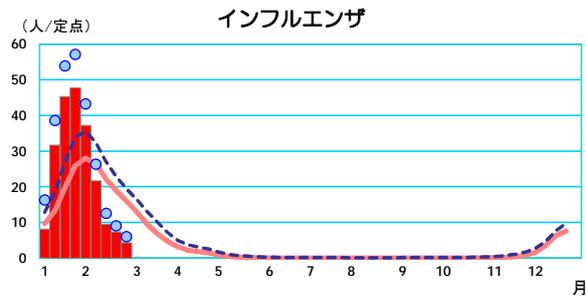
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<風しん>

付表(疾病、行政区別報告数 / 年齢階級、疾病別報告数 / 週、疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、2019年3月6日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第9週(2月25日～3月3日)トピックス: <風しん>

京都市の風しんの報告が1例(30歳代女性)あり、本年の累積報告数は7例となりました。全国の累積報告数は768例となり、平成24年から25年にかけての流行以来の増加となった昨年に引き続き、報告数の多い状況となっています(表1)。地域別では首都圏(東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県)や大都市を抱える府県(大阪府、福岡県)に集中する傾向がみられ、前週の第8週には1週間の全国の報告数が109例、今週は113例と2週連続で100例を超えており、今後周辺地域への拡大も懸念されます(図1)。この状況を踏まえて国立感染症研究所では「風しん流行に関する緊急情報」を発信しています(下記URL)。

風しんは子供の感染症というイメージがありますが、患者報告数を性別、年齢別でみると94%が成人、男性が女性の約3.5倍で、特に30歳代～50歳代の男性の比率が高くなっています(図2)。これは予防接種法の制度上、風しんワクチンの定期接種機会が無かった、または、個別接種となったため接種率が低かったことなどにより、抗体の保有率が低いことが原因となっています。

本疾患は妊娠初期の女性が感染すると、胎児が風しんウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障などの障害をもった赤ちゃん(先天性風しん症候群(CRS))が生まれる可能性があり、前回の流行時には41名の出生児がCRSと診断されました(平成24年10月～平成26年1月)。本年は1例がCRSと診断されています。

風しんは風しんウイルスによる発疹性の感染症です。感染経路はくしゃみや咳などによる飛沫感染で、その感染力は非常に強く、インフルエンザウイルスよりも強いことが判っています。予防には2回のワクチン接種が有効です。妊娠中の女性は接種を受けられないため、周囲の人、特にパートナーがワクチン接種を受けてください。また、抗体を持たない、又は抗体価の低い妊娠中の方は、可能な限り人混みを避けるなど予防策をとってください。

京都市では、風しんの抗体検査や予防接種に対して助成制度(要件あり)を実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「MRワクチンの助成について」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000239155.html>

また下記URLにて風疹について掲載しています。

○「風しん流行に関する緊急情報」(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/rubella/2019/rubella190227.pdf>

表1 京都市及び全国の報告数の推移(平成24年～平成31年第9週まで)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 第9週まで
京都市 (人)	26	210	1	1	0	0	14	7
全国 (人)	2,386	14,344	319	163	126	91	2937	768

図1 都道府県別の累積報告数の推移(本年第9週まで)

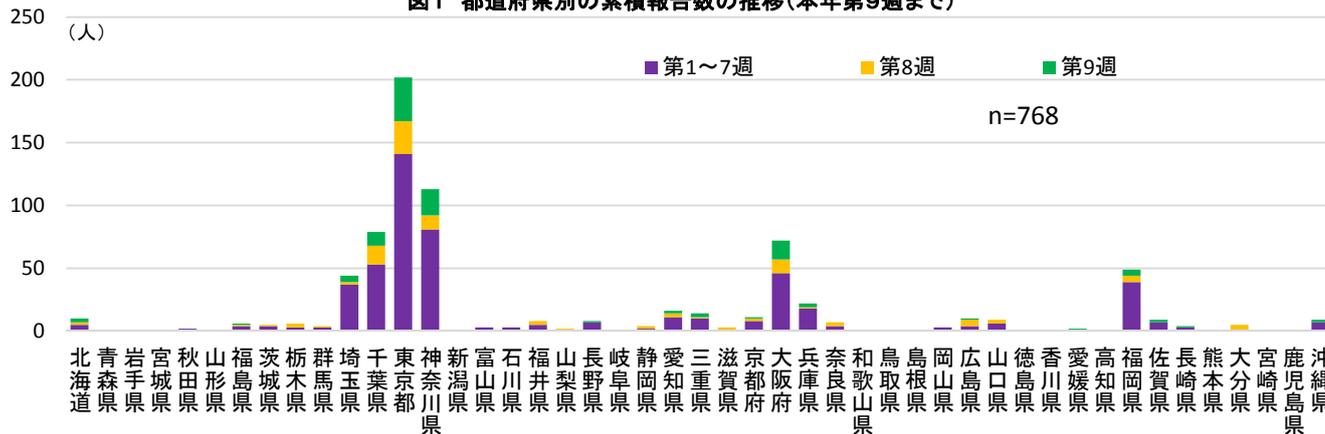
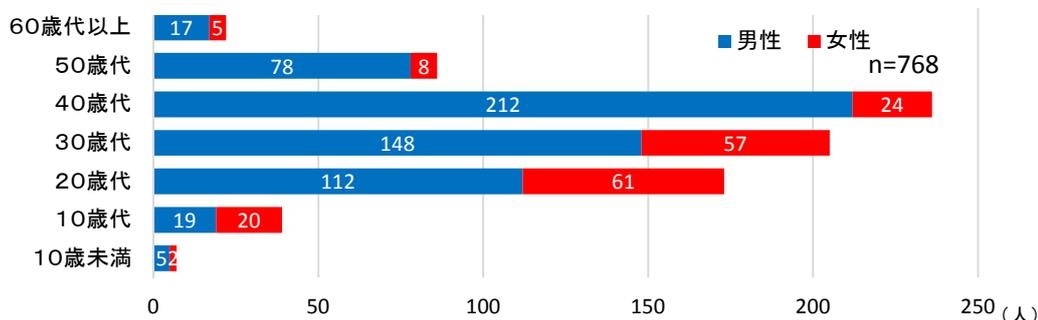


図2 全国の性別、年齢階級別の報告数(本年第9週まで)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第9週

疾病,行政区別報告数

2019年2月25日～2019年3月3日

データ入手日:2019年3月6日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	14	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	7	2	-	2	8	-	-	-	1	-	-	-	-						
左京	50	-	1	3	35	1	1	7	2	-	-	-	-						
中京	17	-	-	1	18	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	8	1	-	1	16	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	26	-	1	2	7	-	-	10	1	-	-	-	1						
下京	12	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-						
南	45	1	-	6	27	-	-	1	1	-	-	-	-						
右京	38	6	8	22	48	1	-	6	4	1	-	-	1						
伏見	42	1	1	7	48	-	3	3	3	-	4	-	-						
西京	34	-	2	3	38	1	-	2	-	-	-	-	-						
京都市計	293	11	14	47	249	4	5	30	12	1	4	-	2	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	2.00	-	0.25	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	1.40	0.67	-	0.67	2.67	-	-	-	0.33	-	-	-	-						
左京	7.14	-	0.25	0.75	8.75	0.25	0.25	1.75	0.50	-	-	-	-						
中京	3.40	-	-	0.33	6.00	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2.67	0.50	-	0.50	8.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	3.71	-	0.20	0.40	1.40	-	-	2.00	0.20	-	-	-	1.00						
下京	4.00	-	-	-	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-						
南	9.00	0.33	-	2.00	9.00	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-						
右京	4.75	1.20	1.60	4.40	9.60	0.20	-	1.20	0.80	0.20	-	-	1.00						
伏見	3.82	0.14	0.14	1.00	6.86	-	0.43	0.43	0.43	-	0.57	-	-						
西京	4.25	-	0.40	0.60	7.60	0.20	-	0.40	-	-	-	-	-						
京都市計	4.25	0.26	0.33	1.09	5.79	0.09	0.12	0.70	0.28	0.02	0.09	-	0.20	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第9週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年2月25日～2019年3月3日

データ入手日:2019年3月6日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	293	1	4	11	15	20	19	8	21	18	12	15	26	7	16	29	26	16	10	11	8	
RSウイルス感染症	年齢3	11	1	7	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1							
咽頭結膜熱		14	-	-	1	-	4	3	4	1	1	-	-	-	-	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		47	-	1	3	7	4	5	6	4	6	1	3	3	-	4							
感染性胃腸炎		249	1	11	32	32	29	38	21	18	8	11	5	19	5	19							
水痘		4	-	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-							
手足口病		5	-	1	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-							
伝染性紅斑		30	-	-	3	4	7	4	8	3	1	-	-	-	-	-							
突発性発しん		12	-	4	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1						
流行性耳下腺炎		4	-	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-							
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	4.25	0.01	0.06	0.16	0.22	0.29	0.28	0.12	0.30	0.26	0.17	0.22	0.38	0.10	0.23	0.42	0.38	0.23	0.14	0.16	0.12
RSウイルス感染症	年齢3	0.26	0.02	0.16	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02						
咽頭結膜熱		0.33	-	-	0.02	-	0.09	0.07	0.09	0.02	0.02	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.09	-	0.02	0.07	0.16	0.09	0.12	0.14	0.09	0.14	0.02	0.07	0.07	-	0.09						
感染性胃腸炎		5.79	0.02	0.26	0.74	0.74	0.67	0.88	0.49	0.42	0.19	0.26	0.12	0.44	0.12	0.44						
水痘		0.09	-	0.05	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-						
手足口病		0.12	-	0.02	0.05	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑		0.70	-	-	0.07	0.09	0.16	0.09	0.19	0.07	0.02	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.28	-	0.09	0.14	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02					
流行性耳下腺炎		0.09	-	-	-	-	-	0.05	-	-	0.05	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	0.10	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第9週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年3月6日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	3,292	2,568	1,493	652	500	293
RSウイルス感染症	7	8	11	7	15	11
咽頭結膜熱	17	10	7	10	10	14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	50	71	58	52	57	47
感染性胃腸炎	308	282	278	213	259	249
水痘	6	4	3	7	4	4
手足口病	1	2	3	3	3	5
伝染性紅斑	42	28	32	34	39	30
突発性発しん	12	9	8	5	16	12
ヘルパンギーナ	2	-	3	-	-	1
流行性耳下腺炎	2	-	2	3	2	4
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	1	2	3	1	2
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	3,740	2,983	1,900	989	906	672

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	47.71	37.22	21.64	9.45	7.25	4.25
RSウイルス感染症	0.16	0.19	0.26	0.16	0.35	0.26
咽頭結膜熱	0.40	0.23	0.16	0.23	0.23	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.16	1.65	1.35	1.21	1.33	1.09
感染性胃腸炎	7.16	6.56	6.47	4.95	6.02	5.79
水痘	0.14	0.09	0.07	0.16	0.09	0.09
手足口病	0.02	0.05	0.07	0.07	0.07	0.12
伝染性紅斑	0.98	0.65	0.74	0.79	0.91	0.70
突発性発しん	0.28	0.21	0.19	0.12	0.37	0.28
ヘルパンギーナ	0.05	-	0.07	-	-	0.02
流行性耳下腺炎	0.05	-	0.05	0.07	0.05	0.09
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.10	0.20	0.30	0.10	0.20
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	58.21	46.95	31.26	17.52	16.76	13.21

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。